



CHRISTINE HOOK
ドイツ/オーストリアのコン
トラバス奏者。キェンター・
トラウス、フランク・ベントラ
ウチに学ぶ。数々の国際コン
クールに入賞。オーストリア
活動。室内楽奏者として、室
内楽祭など多くに招かれて共
にザルツブルク・モーツァルの
テウム音楽院などで後進の
指導にあたる。

コントラバス弾きとジャンのための

低音ジャーナル

構成 / 佐瀬 亨

7月22日、29日にドイツのルート
ヴィヒスルスで開催されるコントラ
バスのためのJ.S.シュベルガー国
際コンクール。そのアーティスト
クアリティクターのクリスティーネ・
フオックに話を聞いた。「35歳以下
若いコントラバス奏者に、特別で意欲
的な体験をしてみようための企画。
この楽器の国際的なネットワークを
広げたいと考えています」と語る。そ
のために、コンクールと同時に審査員
によるコンサートやマスタークラス
も開催する。「私も過去にこのコン
クールで大切な友人を得ました。実
際にコンクール参加者は、音楽とコン
トラバスを愛しています」とフオッ
ク。彼女がこのコンクールをオーガ
ナイズする原動力だ。

ドイツでのコントラバス国際コンクール
アーティスト・クォリティクターに聞く
取材 / 文 / 佐瀬 亨

「この1年、私たちはルートヴィヒス
ルスのシュタートカペレ・シユベリ
ンやメクレンブルク・フオホシュメル
ン州音楽協会の協力を得てきました。
ハンブルクやシユベリンの放送局も
入賞者のイベント出演などのサポート
をしてくれます。寄付のシステム
やコンクールの運営も変化させまし
た」と態勢を構築してきたことを説
明する。
「コンクールの雰囲気は国際的なだ
けでなくとても家庭的。ルートヴィ
ヒスルスは、魅力的な小さな町で、
http://www.spengerwettheverb.de/



豊かな表現力。

オリエントコントラバスは

インドメイトの国産品です。

コントラバス、5弦コントラバスについては、特注品も受注致します。



〒611-0041 京都府宇治市横岡町落合138-2 TEL.0774(22)3227 / FAX.0774(24)3804 株式会社ヒガシ絃楽器製作所 www.oriente.jp

ゴットラバス弾きとフアンのための

低音ジャーナル

発行人/佐瀬 亨



▲授賞式で
左からハバドの
ユ、クリコフの
3名



▲演奏に拍手を送る審査員。
左から3人がフアゴーニ



▶真剣にゴットババイスを
受ける参加者



▲街角に集まっ
た50Aのコンツ
ラバズ!

30周年を迎えたコンクール

コンクール・ボツテシーニが9月23日から29日、イタリアのクレマで開催された。このコンクールは、ゴットラバスの名曲を多数生んだ作曲家ジョヴァンニ・ボツテシーニにちなみ、1989年以来開催されてきたもの。今回で7回目を数え、誕生から30年の節目の年を迎えた。

今回は、26か国から55人が参加。2回の審査とセミファイナル、ファイナルと進み、ファイナルには3名が残った。審査員長はフルン・ジコラチ、審査員にはランコ・ペトラッキ、クリスティーネ・ホックらベテラン演奏家を中心にイタリア、ドイツ、フランス

イタリア・クレマでコンクール・ボツテシーニ開催 作曲家生誕の地に50名以上の若者が集結

取材・文・写真/佐瀬 亨

から7名が集った。

ファイナルは9月29日にサン・ドメニコ劇場で行われた。結果は一位なし、二位にイタリア・クリコフ(27歳・ウイーン)

ラント)、ホセ・トリゴ(22歳・ポルトガルの2名、三位にハン・ジユンジン

(17歳・韓国)がそれぞれ受賞した。

さまざまなレベルの人が

筆者は9月26日に実施された第二次審査の後半の8人を聴いた。暗譜して演奏する人もいれば譜面台を置いて演奏する人もいる。第一次審査を

通ったとはいえ、彼らの演奏レベルはさまざま。しかし、中でも明確に演奏スタイルを持ち、自分の音楽と曲を中心にイタリア、ドイツ、フランス

見える人が、その後のステップに進んでいった。ファイナルに進んだ3人は第二次審査で聴くことができたのは僥倖だったが、最終的に審査員が甲乙つけがたく、一位なしの二位を二人に授与したことは納得できる結果だったと思う。

コンクール会場で印象的であったのは、審査が終了した後にコンテスト参加者が臆せず審査員に質問したことだった。通過はかなわなかったが、審査員にアバイスを受けてくれたことだ。通過はかなわなかったが、審査員に質問した参加者が臆せず審査員に質問したことに応えていた光景に、このコンクールが単に競争の場ではなく、若い

音楽家を育成する場でもあることを感じた。

アーティストック・テイレクターのエンリコ・フアゴーニが「多くの若い音楽家に参加して欲しい」と著者に語っていたことが具現化されていたのである。

クレマっ子も興味を持つ

コンクールの他、マスタートラスも開催され、さらに9月25日にはフツシエモフが行われた。コントラバスを

持った約50人の若者が、クレマ市中心部に出現しサン・ササンスの《象》を演奏したのだ。フアゴーニの指揮で突然のパフォーマンスに人々は驚き、そして喜びの歓声と拍手を演奏

者に送った。ジェネラル・テイレクターのフランチェスコ・ドナーテは「コンクールとフツシエモフは、クレマっ子 Cremaschi の心をポジティブな気持ちにしました。市民の間でコンクールについても感心が高

まりましたし、世界中の人々がジョヴァンニ・ボツテシーニの音楽の美しさを発見していることも感心させました。コントラバスがとも身近な存在になり、そのアドレナリンの効果で、ファイナルには多くの人が駆けつけました」と語る。

美しい街で開催されたコンクール・ボツテシーニは参加者にも地元の人々にも忘れられない贈り物を届け、閉幕をした。なお、FESTIVAL BOOK ページでコンクールの模様を見ることができ、是非、視聴を。

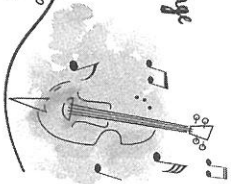


Sarasate 2020. Aug. (Spenger Competition)

Quarantine Challenge



15 June - 2 August 2020



International Double Bass Quarantine Challenge

- ・イベント期間：2020年6月15日～7月27日
- ・国籍：年齢：全く問わない
- ・課題曲：特になし。ソロ、アンサンブル、オーケストラ曲からピアノソロがあるような独創的なもので
- ・編成：ソロと合奏は問わず(あなたのお好みで)
- ・動画：最長20分まで
- ・詳細：challenge.spengercompetition.com

コントラバス弾きとジャンのための

低音ジャーナル

発行人 / 佐藤 亨

本誌92号で紹介した第11回ヨハン・ヘンデルコンクールの今回は新型コロナウイルスによるパンデミックで延期となった。新会期は2022年3月27日～4月3日、会場は今年予定されていたドイツ北部のロスツクだ。

コンクールのアーティストラインナップは、オックスフォードの参加者、審査員スタッフの多くが他国から来る国際的なコンペティションであることが延期の理由です。世界的には渡航緩和の動きもありますが、壁は高かったのです。コンクール、マスタークラスなど、全て実現が不可能になりました」と無念さを語る。自身、COVID-19で生活が一変したと本誌へのメールに記した彼女は、「テレビされたベストなビデオが週一回発表されます」とフックはInstagram上で語る「みなさんの今の姿を寄せていただけると嬉しいですね。少しでも無料で」とも。示された応募条件から考えると「何でもあり」だ。「コンクールではありません。私たちが審査員ではなく、モチベーターとして動機付けをします」とフック。

「巣ごもり」で培った成果で世界へ挑戦！ 国際コントラバス「隔離、チャレンジ」

取材・文 佐藤 亨 取材協力 / クリスチーネ・フック

がりを保ち、この異常な時代にもお互いに共通の目標を追求し続けることを目的としたもの。イベントの条件は「国籍、年齢問わず、誰でも、誰とでも、曲は何でも、編成は自由で、時間は20分以内」の条件でビデオプログラムを提出する」としている(概要は別記を参照)。極めて自由度の高いものであり、主催者も「スタンダードなレパートリーはもちろん、独創的なアイデアやユニモラスな作品も大歓迎」と幅広いコントラバス奏者からの応募に期待している。

本誌発売時にはイベントが開始されていたが、7月27日までの応募期間中は週に1回、その時点で選ばれた最優秀映像が発表され、同コンクールのサイトから配信されることになる。「タイトルでソフィスティケートされたベストなビデオが週一回発表されます」とフックはInstagram上で語る「みなさんの今の姿を寄せていただけると嬉しいですね。少しでも無料で」とも。示された応募条件から考えると「何でもあり」だ。「コンクールではありません。私たちが審査員ではなく、モチベーターとして動機付けをします」とフック。形にとらわれず、まずは「巣ごもり」で培ったパワーをこのイベントに注ぎこんでみよう。



豊かな表現力。
オリエントコントラバスは
ハンドメイドの国産品です。

コントラバス、5弦コントラバスについては、特注品が受注致します。

〒611-0041 京都府宇治市槇島町落合138-2 TEL.0774(22)3227 / FAX.0774(24)3604 株式会社ヒガシ総楽器製作所 www.oriente.jp



栗原拓也の
コンサート

基本的にはアカデミックなコンラインメントで演奏は驚きました。これからもコントラバスの可能性を追求し、その魅力を伝えたいと思います！応援してください。皆さんの声をおかけください。ありがとうございます。 <https://www.bassepiane.com/>

*第11回ヨハネス・テネグアス・ジュベバルカ国際コントラバスコンクール <http://www.spergerwettdeweb.de/>

コントラバス弾きとファンのための

低音ジャチャーナル

発行人/佐藤亨

前号で紹介した国際コントラバス「隔離」チャレンジ。6月から7月にかけて40日の間、164本の動画の応募があった。6歳から65歳まで、全世界から応募がありました。全てのビデオのレベルの高さに感動しました、多岐にわたる音楽の種類に驚きました。この多様性は、コントラバスという楽器のスペースの広さを示しています。通常ではありえない魅力的で特別なものでしたと本コンペティションのアートディレクター、アレクスター・クリスチーネ・フックは印象を語る。「協力してくれた審査員は、ソリスト、オーケストラプレイヤー、教育者などさまざま。このコロナの時代に音楽家のモチベーションを高めること、という目的に共感してくれたので」と説明する。

文 佐藤亨 取材協力 クリスチーネ・フック

国際コントラバス「隔離」チャレンジ インベイション部門で栗原拓也が第一位

ン(画面分割)のグループもたくさんありました。審査も難しかったので、(ドイツ)の作品は並外れたものですが、優勝したグレン・グロスマン審査員は彼のアイディアを称え、審査員も受賞しました」と新メディアア独特のエピソードも披露した。その他のジャンルと受賞者の詳細はウェブサイトを参照してほしいが、インベイション部門では日本の栗原拓也が第一位を獲得した。本誌94号の本欄にBASS PLAYERSとして登場、エフェクターを駆使して新しいコントラバスの世界を開拓している人だ。栗原についてフックは「実験的なアイディアが多く、栗原さんは本

当に優秀でした」と語る。

「若手アーティストの受賞者はまだ15歳でした。国境が閉ざされ、芸術が危機に瀕しているこの時代に、年輪やプログラムの制限を設けず門戸をを広げるコンペティションは、私にとって重要なこと。コンクール自体を延期しても諦めないというチーム(中国)の二人の受賞者ル)とジェリン・ウエンは、通常のコンクールではチャンスはないであろう優れた音楽家と出会える。」「フックのメッセージは結ば



コントラバス在庫数、世界最大級

入門楽器からオールトベース、弓、修理まで。すべて当店にお任せください。

コントラバス取扱い強化中

〇**コントラバス本店**
〇東京都新宿区百人町1-10-6 B1
☎03-3363-9895 〻contact@kuronawaagaki.com

〇**名古屋店**
〇愛知県名古屋市中区栄2-3-1 名古屋駅前ビル地下階
☎052-202-1011 〻nagoya@kuronawaagaki.com

〇**大阪梅田店**
〇大阪府大阪市北区梅田1-11-4 大坂駅前東4ビル1F 聴覚研
☎06-4736-9838 〻umeda@kuronawaagaki.com

Sara Sate 2020 Feb. (Spenger Competition)



コンクールでのコンサー
トで演奏をするフョック
1月16日にはメクレンブ
ルク=フォアポンメルン
州の北ドイツ放送協会の
で、コンクール支援の
ためのコンサートが開
催される

<http://www.spengercompetition.com/>

コントラバス弾きとファンのための 低音ジャーナル

発行人/佐瀬 亨

第11回ヨハネス・ブライアス・シエ
ルガー国際コントラバスコンクールが
2020年に開催される。日程は7月
26日から8月2日、開催地はドイツ北
部のロストックだ。ドイツのアンター
ナッハ、ルートヴィヒスルスで開か
れてきたが、今回、初めてロストック
へ。ロストックが所在するメクレンブ
ルク=フォアポンメルン州のスマエラ
シエヴァーゼンと知事、指揮者のト
マス・ベンゲルがロストックも支援する。
コンクールのアーティストは、フョク
ダイレクターは、クリスチーネ・フョク
ク。ザルツブルク・モーツァルテウム
音楽院で教鞭をとり国際J.M.シユ
ペルガー協会の代表でもあるフョク
は「最高のパートナーシップをロス
トックで得ました。若いコントラバス
奏者が経験とチャンスを得ることが
できるコンクール、多くの参加者と出
会えるのが楽しみです。小さい運営
チームですが、若いメンバーはどれも
意欲的です」と抱負を語る。会場とな
るロストック音楽・演劇大学のオリ
バー・クラーン学長は「世界中から来
る若者たちを万全の体制で受け入れ
ます」とコメント。
参加資格は1985年1月1日以
降に生まれた人。コンクール期間中の
宿泊費や食事代は、参加者に随行す
る共演者も含めて自己負担だが、リッ

シユペルガー国際コントラバスコンクール 2020年はドイツ・ロストックで開催

文/佐瀬 亨 写真提供/クリスチーネ・フョク

ズナツルな宿泊施設を紹介するとい
う。またコントラバスを持ち込むの
が困難な参加者には楽器の貸与制度
も用意している(詳しくは応募要項を
参照)。なお、課題曲として細川俊夫
に新作(独奏曲)が委嘱されているこ
とに注目したい(シヨット・ミュージッ
ク刊)。この曲の楽譜は6週間前に配
布され、第2ラウンドでの演奏が課せ
られる。
予選からフアンナルまでは4つのス
テップで審査される。フアンナルは
オーケストラとの共演で行われる。す
べてのコンサートはストリーミングで
ライブ配信され、フアンナルは北ドイ
ツ放送協会が収録し、故送される予
定だ。

審査委員の顔ぶれは、エリッヒ・
ヴォルフガング・クルガーフョック(委
員長)、文屋充徳、エズニコ・フアンゴ
ネら8人。彼らを講師とするスマタ
クラスやコンサートも行われる予定
だ。多くの若いコントラバス奏者の切
磋琢磨と出合いの場ともなる国際コ
ンクール。エントリーは開始され、締
め切りは2020年6月1日。なお、
コンクールに寄せて、シユペルガーの
《コントラスとヴァイオリンのためのソ
ナタ》の新しいエディションがフリ
ドリヒ・ホフメスターから1月に出版
される予定。

コントラバス専門の弦楽器工房

Seele Stringed Instrument Atelier
ゼール弦楽器工房

<https://seele.ocnk.net/>

〒657-0845 兵庫県神戸市灘区岩屋中町5-2-29 ペルシテ イ灘106 ■TEL : 078-802-0080 ■定休日:火・木曜日



▲全員集合写真、充足感に満ちた雰囲気伝わる

コントラバス弾きとフエンのための 低音ジャーナル

発行人/佐瀬 亨

コントラバスを学ぶ若い人たちが対象にしたアカデミー。コロナ禍の中で今年も無事に開催された。そのアカデミーは、ドイツ西部ライン川流域のアムターナッパで開催される国際ローテウス・コントラバス・アカデミー。2017年に設立されたこのアカデミーは、2年に一度開催され、ヨーロッパを中心にして世界各地から受講生が参加する。今年7月28日から8月1日まで行われた。参加者は20名、COVID-19の影響を受けながらもドイツ国内、ポーランド、スペイン、オーストリアからの受講生が集まった。ドイツ国内からの参加者は夏休みに帰国ができなかつた日本、韓国、中国の学生も含まれ、上海からのオンライン受講者もいた。

「今年は、16歳から30歳までの受講生が来ました。彼らのレベルは非常に高いものでした。講師による4回の個人



▲レッスン風景、緊張しながら受ける

将来のコントラバス奏者を育成する 国際ローテウス・アカデミー

レッスンを受講するのが基本。他にはフークショツプ、グループレッスンに参加します。テューは、オーケストラのレパートリー、オーティションに向けたトレニンツク、弓の持ち方、アンサンブル演奏、特別なチュエニンツクなどですと語るのは、アチエイスティック・ディレクターのクリスチアーネ・フオックだ。講師はフオックの他、文屋充徳、ベルリン・フイルのグナス・ウパトニエクス、ダン・ステイフ、ヨロツパの第二線で活躍している人たちが会場は、アンターナッパのナムライ

造物だ。「私たちにあって、アカデミーの期間は非常に濃密な時間となりました。受講者たちは多くの情報やアイデアを得ることができましたし、演奏家として将来、必要となるネット

具体的なレッスンのレパートリーに就いて一曲は、受講者の希望を決めることができます。今年、ドイツターストルフ、J.S.バッハ、ボツェジニ、ヒンデミット、ミゼツク、現代曲など多岐にわたりました。高橋明子さんと加藤麻里さんの二人のピアノが献身的に協力し、受講生にとって充実したレッスンになりました」とフオック

ク。講師 受講生・ピアノが三位一体となった様子がうかがえる。「受講生は、アカデミー内でのコンサートと公開コンサートに出演します。もちろん、講師も公開コンサートで演奏します。コンサートは常にフルアッキングでした。地域の方々もアカデミーに興味があるのですね。生徒の一人はすばらしいヴァリアスのヴァイオリンソナタを演奏しました——アカデミーとコミュニティーとの関わりも構築されている。

「今年、受講生、講師が来てくれるのか、ナムライ城ですべて管理できるのか、スポンサーのサポートを受けることができるのか…….気をもむことばかりでした。しかし、終わってみれば、完璧なアカデミーになりました。特に厳格なコロナ・ルールの中にもかかわらず、すばらしい雰囲気で開催されたことには、講師も受講者も感謝し喜んでいきます」とコロナ禍の中で

このアカデミーには創立にあたってのエピソードがある。アンターナッパで開催されていたシエベルガー国際コンサートが他へ移転した。これを悲しんだ篤志家ロース・リー・ローテウスの援助で立ち上げられたのだ。「彼女はコントラバスが大好きで、私たちの楽器をサポートし続けたいと思っていました。彼女ともこのアカデミーを作ったのです」とフオック。将来のコントラバス奏者を育成するこのプロジェクト、次回は2023年夏に予定されている。